

質問状

私たちの要求はただ一つ、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催を中止することです。この要求どおり返上するのであれば、本質問状にお答えいただくだけでも構いません。

ただし、返上しないのであれば、以下の質問に必ずお答えください。

都として、都民に多大な犠牲を強いるイベントを開催する以上は、都民の不満に耳を傾け、また疑問に対して責任をもって答えることが、都知事の義務であるからです。

真摯な対応を期待します。なお、回答期限は11月末日とさせていただきます。

(質問事項)

1. 2020年東京五輪は、『復興五輪』であるとされています。そうであれば、福島県はじめ東北、関東地方が安全になったことを世界にアピールするためにも、聖火リレー、五輪競技や関連イベントが行われる全施設・道路および、空港、選手村、駐車場等にモニタリングポストを設置し、また各選手団にガイガーカウンターを配布して、選手・観客にその目で放射線量を確かめてもらうべきだと思います。それができないのであれば『復興五輪』は嘘になりますし、復興していないのであれば五輪自体開催するべきではありません。設置・配布はしますか？ 設置・配布をしないのであれば、その理由は何ですか？
2. 福島から聖火リレーが出発し、県内で競技を行うことは、選手・観客を無用な被曝にさらす行為であり、不安と怒りの声がずっと続いています。聖火リレーのコース、福島で予定している競技開催場所の変更をしますか？ 変更しないのであればその理由は何ですか？
3. 2020年東京五輪招致に際して、安倍晋三首相は、「原発事故の影響はコントロールされている」と演説しました。今現在、都はこの認識を共有していると考えてよろしいでしょうか？
4. 東京都内各地に、ホットスポットと呼ばれる、局地的に放射線量の高い地域があります。こうした地域を2020年東京五輪開催までに、都として全て除染する予定はあるのでしょうか？ 除染しないのであればその理由は何ですか？
5. 真夏の開催となる2020年東京五輪の間中は、猛暑が予想されます。都は選手や観客に対して安全を保障できるのでしょうか？ また、ただでさえ病床や救急車が不足している中で、選手や観客が次々に倒れるといった事態が発生した場合、対策はどのようにしますか？
6. 2020年東京五輪の競技中に、気温が高温になり、あるいは光化学スモッグが発生した場合、従来どおり注意報・警報を発令しますか？ そして、速やかに競技を中止しますか？
7. 2020年東京五輪の開催費用は、膨張を続けています。過去の五輪の開催都市では、多額の債務を抱え、返済に数十年を要したという例が少なくありません。都として、今大会で具体的にいくらの債務を抱え、それを何年かけて返済する計画なのか、お聞かせください。また、都が運営することになる7つの新施設で年間計10億円ほどの赤字が見込まれています。これを解消する方策は考えているのでしょうか？
8. 現在、東京都内各地で再開発が進み、月島や立石、武蔵小山、大山など多くの街で伝統的街並みがすでに壊されたか、危機にさらされています。東京都は、2020年東京五輪で、世界に向けて東京という都市の魅力をアピールするつもりなのであれば、こうした乱開発に規制をかけるべきではないのでしょうか。その予定はあるのでしょうか？ 規制しないのであればその理由は何ですか？
9. 2020年東京五輪では、医療を含む多くの業務がボランティアによって担われます。しかし、大会組織委員会の幹部の年間報酬が2400万円に上るといわれる一方で、ボランティアに支払われるのは一律1000円の交通費のみです。この偏った分配を見直すつもりはありますか？ 見直さないのであればその理由は何ですか？
10. 現在、シングルマザー、滞日外国人をはじめ、非正規労働者の家庭などで、貧困のために、部活などのスポーツができない非常に多数の子どもたちがいます。学校で「スポーツの素晴らしさ」を教えるオリ・パラ授業の主要な項目として、そのような社会の現状と対策を取り入れますか？